

大阪工業大学應援團 團報



題字：青井忠正前学長

発行所
大阪工業大学應援團
発行責任者 安田幸弘
編集責任者 田中一夫
大阪市旭区大宮5丁目16番1号
TEL (06) 952-3131

團報第13号

特集・中華民國夏季研修合宿

S 56.9.8~9.15
於 中華民國台湾省



中華民國夏季研修合宿に想う

大阪工業大学應援團
團長 安田幸弘

今年の夏期合宿も、一昨年に引き続き中華民國台湾省に於いて行いました。本年中華民國を合宿地と考へました理由は、一昨年訪華致しました折、淡江大学東方語学科の学生諸兄と交歓会を行いました。その時の交流をより親密にするため、又、一昨年の合宿で経験する事が出来なかつたホームステイというものを体験するためあります。

塩崎OB会長に御相談した処、今回の中華民國訪問に於きましても、気持ちよく相談のつて下さり、一昨年同様、広い意味の合宿とするため、OB有志諸氏と共に訪華団を結成し、名前を大阪工業大学訪華親善団とし、団長を塩崎会長に御願ひ致しました。我々は次の様な目的を持って訪問した次第であります。

- 一、学生交流
- 一、ホームステイを通じ、風俗習慣を知る。
- 一、中華民國の産業を知る。
- 一、中華民國の政治・経済について知る。
- 一、応援団というのを知ってもらう。
- 一、OBと現役との一層の信頼を深める。

今回の合宿に於きましては、淡江大学との交歓会を主目的としたのは言うまでもなく、もう一つの大きな目的でありますホームステイを通じて、直接、一般家庭での生活に接し、生活様式・習慣等を体験することになりました。ホームステイ致しましたのは、台湾省の南部に當る、中華民國第二の都市高雄市の家庭であります。御世話下さった方々は、自国語・英語、そして片言ではあります日本語と語学にすぐれておられる方が多く、我々は片言の英語と漢字(筆談)で話をしましたが、語学力のなさを痛感しました。又、生活様式も多分に洋式化されてい



台湾省二度目の訪問

監督 永田昌宏

本年の応援団夏期合宿は、昨年に引き続き中華民國台湾省にて行いました。前回、私は現役学生として訪台したのですが、今回は監督OBとして、合宿後半から参加しました。その為、現役学生と行動を共にしたのは、早朝稽古と台北觀光と淡江大学訪問でありました。早朝稽古は、稽古と言っても街の中であつた為、場所は近くの公園で行つたので、軽く体をほぐす程度のものであります。稽古中街の人々が見物に来て、気合を入れて見物するのがわかるのだらう、真剣に見物してあります。

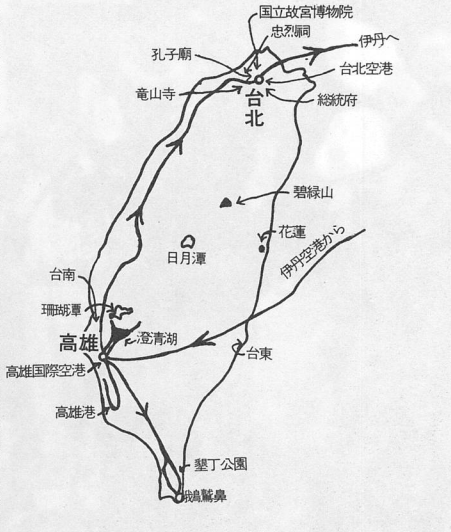
一昨年、私達が訪台した際、知り合いになつた淡江大学の学生諸君とは、その後、各自文通や又、応援団としても東方語文学系日本語科の方へ団員が読み古した国語の教科書や文学小説、童話、演劇の台本など勉強に役立ててもらつたと送つたりしており、継続的に

交流をしてまいりました。今回も、現役学生より淡江大学と交換会も行いたいとの希望があり、今春、前訪台の際も交換会に御尽力頂きました東方語文学系主任の翁蘇卿先生に連絡しましたところ、先生より学生諸君が今回も交換会を大変楽しみにしており、その時全員で行えるゲーム等も考へておるので、日程等が決まつたので、日等が決められたのですが、応援団現役学生もこの合宿の為、夏休みはアルバイトで忙がしく、又、合宿費捻出の為、後期授業直前の9月8日からの訪台となりました。ところが淡江大学も9月14日から新学期(日本の4月上旬)が始まるという事で、交換会はその日に決まりました。その日は現役が帰阪する日であり、時間が少ししかとれず非常に残念に思いました。淡江大学は一昨年迄は、淡江文

た事を考えると生活水準が高まり近代国家に成り得た為だと思ひます。帰国後、既に一ヶ月が過ぎ我々は、学園の支援活動にはげんでおりますが、今後この貴重な経験を生かし活動に精進すると共に、この合宿に於いて知り合つた方々と未長くおつき合ひ願ひ友情を深めつつ日台親善のごく一部にでもなればと思つております。最後にになりましたが、多方面に渡り御指導下さいました塩崎OB会長を始め御同行下さいました先輩諸氏、並びに、台湾において御世話下さいました台北市議會の方先生及びホームステイで御世話下さいました方々、又、淡江大学との交歓会では、計画時より御連絡戴き予定をたてて下さつた東方語文学系主任の翁先生、旅行者の方々に心より御礼申し上げます。誠に有難當御座居りました。

9月15日	9月14日	9月13日	9月12日	9月11日	9月10日	9月9日	9月8日	日	
	9:00 起床 早朝稽古 淡江大学との親善交流	9:00 起床 早朝稽古 台北市内観光(龍山寺・中正記念堂)	10:00 起床 早朝稽古 午前稽古	9:00 起床 集合 高雄発 ← 汽車	6:00 起床 集合 台北市庁表敬訪問 台北市議會 表敬訪問 ホテル着 台北市金府大飯店泊	9:00 起床 集合 高雄市内観光(澄清湖・永懷領袖) CHINA STEEL見学 中国造船所見学 各ホームの方々への返礼パーティ 解散 ホームステイ	11:00 起床 集合 格蘭ビー観光 熱帯植物園見学 解散 ホームステイ	10:00 団室集合 大宮神社参拝 伊丹発 ← 高雄着 各ホーム着 ホームステイ	午前 午後
5:55 後発隊OB伊丹着	2:35 台北発 ← 伊丹着 大宮神社参拝 解散	1:00 台北市内観光(故宮博物院・總統府・孔子廟) 自由行動 ミーティング 台北市金府大飯店泊	3:00 後発隊OBとの合流 ミーティング 台北市金府大飯店泊	2:30 台北市庁表敬訪問 台北市議會 表敬訪問 ホテル着 台北市金府大飯店泊	12:00 鄭美桂先生の門下生諸兄との合同昼食 高雄市庁表敬訪問 CHINA STEEL見学 中国造船所見学 各ホームの方々への返礼パーティ 解散 ホームステイ	4:00 熱帯植物園見学 解散 ホームステイ	4:50 伊丹発 ← 高雄着 各ホーム着 ホームステイ	午前 午後	

▽消化日程△



海外研修合宿の意義

我々大阪工業大学応援団は、一昨年に引き続き、今回二度目の海外研修合宿を挙行しました。海外研修合宿とは、従来の強化合宿と少し趣が違つたものであります。

強化合宿は、単的に言えば身体を鍛え、技を修得し、訓練の厳しさから精神を養い、さらに、衣食住を共にし、サークルの団結を図るものと言えよう。又、学外合宿は訓練や技の修得の為ばかりではなく、新しい体験をする為である。活動の場を広げていくのもさうである。合宿をする以上、必ず幾人かの人々と接するはずである。その地で生活をして、色々な事を見たり聞いたり、新しい体験をするはずである。

学外で合宿をするのは自分達の団体の活動を他人に知ってもらう。つまり、活動の場を広げる為であり、その地で生活から色々な事を学び、吸収し、その後の活動を意義あるものにする為であります。それなら一層の事、学外で行う意味を考え、思い切って海外で合宿をしてはどうだろうか。我々応援団はそういう見地に立つて、今回二度目の海外研修合宿を挙行したのであります。海外へ出て行くことは、外国の人々と接し外国の生活を体で味わうことで、まさに全く新しい体験をすることであり、応援団という団体を知らなく

ホームステイにて



ホームステイにて

我々は、最初の三日間をホームステイさせていただいた。その目的は人々の生活、習慣などを体験することにより、又、人々の物の見方、考え方を判断できる様になる事である。

さて初日、中華民国の南部に位置する第二の都市高雄市へやって来た。ホームステイは、ここで御世話になるわけである。種々な工場が集まる一大産業都市だけに繁華街は大変賑やかで、盛夏は過ぎているものの気温はまだかなり高い。しかし日本のように湿度が高くない比較的過ごしやすかった。道路のグリーン地帯には熱帯植物が植付けてあり、南国のムードが漂っていた。その中を私達は各家庭へと散らばって行った。私の滞る家庭は外科医を開業されて居る。建物は治療室兼家庭でもある数階建てのビルディングであった。御夫妻の第一印象は、南国的な情熱あふれる人達だと感じた。日本語は片言で話されたがコミュニケーションに於いては、不便なことではなかった。どうしても通じ

高雄市庁表敬訪問

台北市から南へ三百七十六キロ、台湾南部に位置する高雄市の、台北市に次ぐ人口約百三十万の大都市である。高雄市の南部台湾の経済の中心地、特に工業は台湾最大の重化学工業が発達している。我々は高雄市の市長を訪問した際、楊金樞市長のお力添えにより、有名な鉄鋼所(CHINA STEEL)、造船所(CHINA SHIP BUILDING CORPORATI ON)を見学することができた。日本に居ながら日本の造船所を見学する機会が少ない我々にとって、貴重な体験となった。

初日、台湾最大の工業地帯を持つ高雄市の総元締、高雄市長を我々は表敬訪問した。応接室に案内された我々は、楊市長と挨拶を交し、続いて「京人形」、「ペナン」等を贈った。その時の楊市長の笑顔が、非常に印象に残っている。寛容に迎えていただいた市庁内に於いて、市長と我々は楽しく語り合うことが出来た。

楊市長は日本語が上手で、日本の大学を出られたらしく、我々には非常に身近に感じられ、又、市長のお話も興味深い事ばかりであった。我々は、市長が高雄の産業をより一層発展させていくという姿勢に非常に感銘した。豊富な資源と広大な土地を持つ高雄は、将来、大きく発展することはまちがいない、そのように我々は感じるのであった。

市庁表敬訪問を終えた後、先に述べたように鉄鋼所と造船所を見学した。「百聞は一見に如かず」ということわざにもあるように、市長との懇談で感じた事は、この時さらに我々に印象づけられたのである。

本風になっているのか、本場の味は最高であった。「西洋の家に住み、日本女性を娶り、中華料理を食べるのが最高の幸せ」という言葉は事実であるように感じたのである。

また家族の方々には、忙しい中、近くの名所を案内して戴いた。寿山、高雄港、澄清湖や有名デパートなどである。寿山では、軍隊の立入禁止場所があった。臨戦体制にある中華民国では、当然のことかもしれないと思いつつも南国情緒の満ち溢れている中、厳格で重々しい一面には少々驚いた。寿山から見る街の夜景は大変すばらしかった。騒然としている街もここからはわからない。ただ静かな明りの世界として映っているだけである。穏やかな海の高雄港も視界にある。また高雄で一番大きいデパートは、商品名の漢字を見れば、その意味から何となく品物がわかるのには面白かった。我々は、いわば外国からやって来た見知らぬ人間である。それにもかかわらず、広きに渡り御世話下さり、この国の人々の寛大な心使いには感動した。このゆとりある精神は中華民国全体のゆとりである。理解しても大袈裟ではない。それほど親切であったのである。現在、日本人の風潮として利己主義的な傾向にあるのは、非常に愚かしいことである。バスの停留所では驚くほど秩序正しく一列に並んでいるのである。日本では、このような点が全く欠けてしまっている。日本からは多くの製品が輸出されているが、中華民国からは精神を輸入してはどうかと感じた。

ホームステイで得たものは、一言で言うならばこれからの中華民国の益々の発展を示唆している人々の心であったようだ。

健康のために1日1食
中華料理をたべましょう

栄亭

TEL 952-1082

幸寿司

TEL 954-9306

二階座敷
卒研各クラブのコンパ
忘年会新年会に御利用
下さい。

木のかおりのコーヒハウス

TOGETSU

五大東門通り
大阪市旭区中宮5丁目5-18
Tel. 06-953-7613
8:00AM~10:00PM

お気軽に御利用出来るみんなのお店

喫茶ルーブル

COFFEE

旭区中宮5-6 (大阪工大正門前)

TEL. 951-2220

台北市政府表敬訪問



我々は、九月十一日に高雄市を去り台北市へと向かった。その足で台北市政府表敬訪問した。ここで我々は台北市政府馬鎮方秘書長に御会いすることが出来た。ことなく風格のある方で、とてもやさしそうな人だった。我は贈り物として京人形と、ペナントを贈った。京人形はともきれいだと言われ大変嬉んでくれた。

それから我々は懇談会の場を持せて戴き、中華民國、その中でも特に台北市の政治、産業、交通など色々なことについて御伺いした。政治、経済の体型は日本とよく似ているようだった。台湾の国民所得は、日本の十年位前と同じぐらいで我が日本を目標としている。それが産業は商業がほとんどである。やはり台北は北の玄関であるので商業、サービス業などが盛んである。また、交通は、自動車、オートバイ、自転車であるが、中でもオートバイが多く、交通事故などの諸問題が起きている。又、現代の若者の就職状況を聞いてみると、公務員への安定志向よりも、自分の力を発揮できる民間企業へと向いている。そして、懇談会の後、市政府の玄関で我々の演武を披露した。道路に面した所であったのと、ちょうど仕事の帰りらしき人々の通る時間帯と重なったのか、人々がたくさん集まって来て、あつという間に黒山の人だかりになっていた。演武が終ると見ていた人達は惜し気もなく拍手を送ってくれた。言葉が通じなくても我々の演武を見て何かを感じて心と心が通じたのだと思う。日本を離れて見知らぬ土地で、ふと親しみという温かい心に触れた様な気がした。

翌日、この台北市政府でことが台北の新聞(青年戦士報、中央日報、中華日報)にとり上げられていた。我々は驚きと共に喜びにしばしば浸っていた。

下に青年戦士報の記事を記載する。



台北市庁での演武披露

日本、大阪工業大学訪華団 昨日、台北市政府大門で校旗を掲げ敬意を表明 馬鎮方秘書長が会見

台北市政府秘書長、馬鎮方氏は昨日(十一日)午後三時台北市府大門で、中華民國を訪問した大阪工業大学訪華親善団と会見し、台北市に対し、歓呼と祝福を受けた。

大阪工業大学訪華親善団一行十三名(塩崎恭介団長)は、市政府大門の前で校旗を掲げ、その大学

独自の「応援団」というものを披露してくれた。そして台北市に対し、安定した平和な現代化都市に向かって進むように敬意と祝福を示してくれた。

馬秘書長は一行に会見した際、台北市は現代化している都市で、人口、都市建設のことはもちろん未来へ発展している世界的な大都會であることを語った。馬秘書長は自ら一人一人に台北市のマークの入ったネクタイと台北畫刊(パンフレット)を贈った。

日大阪工業大学訪華団 昨在市府大門 揮舞校旗致敬 馬鎮方秘書長親予接見

【本報訊】台北市政府秘書長馬鎮方氏(十一日)日下午三時、在市府大門前接見來華訪問的大阪工業大學訪華親善團，並接受該團對臺北市的歡呼和祝福。

大阪工業大學訪華親善團一行十三人，由鹽崎恭介領隊，他們在市府大門前揮舞校旗，和表演該校特有的「應援團」。

對臺北市的致敬和祝福，向安樂和現代的現代化都市邁進。馬秘書長在接見他們時談到臺北市是一個現代化的都市，無論在人口和都市建設以及未來發展方向都已晉升為一世界性的大都會，馬秘書長並致送他們每位一條印有臺北市徽的領帶和臺北畫刊。

「中華民國70年9月12日・青年戰士報より」



中正記念堂の衛兵交代

名所・古所を訪ねて

国立故宮博物院

周囲を緑に囲まれた外雙溪の山ふところにある豪壮な中国宮殿式四層建築、博物院のなには五千年來の六十二万点に及ぶ国宝級芸術が収められてあり、三月月ごとに八百点をとりかえて展示している。駆け足で見ても三時間、丹念に觀賞すると三日でも無理だという話だった。

時間おきに衛兵の交代があるが、非常に機敏ですばらしかった。

中正記念堂

広大、かつ偉大で、中華民國全國民が、故蔣介石總統の高徳を讃える為に建てたもので、堂内に高さ六メートルの蔣介石總統銅像が全國民に仰がれている。この中に入ると、蔣介石の偉大さが身にしみて感じられる。銅像への参拝は、三回礼をする方法で行われる。

孔子廟

建築の豪華な点では台湾一を誇っている。大成殿の中央には至聖先師孔子を、左右に顔子、曾子、子思子、孟子の四聖人を、大成殿の左右の建物の「東廡」「西廡」には孔子の七十二の高弟及び中国歴代の賢人二五〇人を、聖祖殿には孔子の祖先五代の靈をそれぞれ祀っている。

竜山寺

一七三八年に建立された市内最古の名刹、中国式寺廟の代表的建築美と彫刻の美しさを誇っている。観音菩薩を中央に、文殊、普賢、



中正記念堂



故宮博物館にて

鷺鷥鼻灯台

エメラルドグリーンのバシー海峽に臨み、台湾の最南端に位置している。ここからの展望は南の水平線まで望み、地球が丸いということを教えてくれる。

墾丁公園

高雄から南へ約一三〇km、熱帯植物が生息する常夏の公園である。八〇〇種におよぶ熱帯植物が、ヤシ類、熱帯果樹、薬用、染料、油脂、ゴム、香料、繊維などに分類されている。また、園内には植物館、地質館、野外音楽堂、人造湖、鐘乳洞、展望タワーがある。その展望タワーからの眺めは、まさに熱帯に浮かぶジャングルといったところである。

JAZZ ROOM
サボリナ

SAVONLINNA

2時~11時
日曜定休

大工大 体育館通り
マンション、タ、シラギラ、パコ屋
サボリナ
地下鉄千林大宮 徒歩3分
千林商店街

パチンコ
アレンジ

大丸会館

新装開店

大工大生のアイドル
2F テレビゲーム

大阪工大正門前通り TEL. 952-2854

TEA ROOM

まるぐりっと

PHONE 954-9478 (バス停前)

麻雀
山

喫茶・軽食
YAMA

TEL951-7592 TEL954-9351
工大正門前

学生交歓会

淡江大学東方語文学系 学生諸兄と……



淡江大学諸兄と共に

研修合宿最終日の九月十四日、我々は、淡江大学を訪問した。九月八日に始まった合宿に於いての重大な目的の一つは、この淡江大学との交歓会にあった。淡江大学とは、台北市の郊外にある中華民国で最大級の私立総合大学である。一昨年訪問した時は淡江文理学院という名称であったが、昨年に大学に昇格したものである。我々はその大学の東方語文学系の学生諸兄と親善交流を行なった。扱って、その日我々は交歓会会場へと向かった。校舎の入口にはたくさんのお花が飾られていて、その中を歩くと、まるで花の道場に入っているような感じがした。内部は整理整頓がされており、大変きれいであった。会場では我々訪華団十七人と、淡江大学から約三十人程が交歓会に臨んだ。まず最初に大学の副学長、我々の訪華団長の塩崎会長、続いて方先生などの挨拶があり、最後にディスカッションに移った。日本語学科の学生であるが片言の日本語しか話せないだろうと思っていたが、あまりにも流暢に話せるので驚いた。

でないかという問題の前の段階である、意欲の違いによるものだと私は思う。これから、彼らの向学心、又、自国を背負って立つという強い決意のようなものが伺えた。

座談会も終わり、最後に我々の演武披露を行った。先生方や学生諸兄は、熱心に、そして真剣に我々の演武を見て下さった。そして、

台北市議会見学

研修合宿の第四日目に、我々は台北市議会の議員であられ、この合宿台北に於いて多方面に渡り御世話下さった方慶水連先生に、市議会を御案内して戴きました。

台北市議会とは日本では東京都議会に相当するものであり、五十一人の議員を持って構成されています。また、選挙区は五区に分かれており、各選挙区では必ず一人の女性が当選するシステムになっています。例を上げてみますと、ある選挙区の定員が六人であり、投票の結果上位六人を男性が占めた場合、六人目の男性が落選となり、最多票の女性が当選するようになっています。また、市議会の組織は六つの審査委員会（民政・財政・教育・建設・工務・警政衛生）から成り立っています。

てしまった。そしてそれとともに、言葉の不安も一瞬にして消えてしまったのである。

まず最初に彼らの疑問に思ったのは、我々の挨拶である「押忍」という言葉についてである。これは我々のほとんどが質問された事らしいが、「押忍」とはいつかという意味ですか。と言った質問である。「日本人の挨拶ですか」とか、日本をよく知っている人からは、「関西弁ですか」と聞かれた者もいた。私は説明していきうちに、話が「学生」という内容まで進展し、御互いに意見を投げ合った。次に私が聞きたかったことは、淡江大学に訪問して驚き、関心したことがあるか、なぜ語学力に優れているか、ということである。特に英語に関しては我々と同じ立場にあるために、その学習法については大きな興味を持った。私と話をしていた学生は英語を習い初めてから七年経つてると答えてくれた。我々と比べても同じ年数なのに、どうしてこのように異なるのだろうか。それは、英語が実用的であるか実用的でないかという問題の前の段階である、意欲の違いによるものだと私は思う。これから、彼らの向学心、又、自国を背負って立つという強い決意のようなものが伺えた。

研修合宿を終えて

今回の中華民国台湾省に於ける夏期研修合宿は、次のような目的で行なった。

- 一、学生交流
- 一、ホームステイを通じ風俗、習慣を知る。
- 一、中華民国の産業を知る。
- 一、中華民国の政治、経済について知る。
- 一、応援団というものを知らせてもらう。
- 一、OBと現役との一層の信頼を深める。

大きな拍手を贈って戴き、この交歓会が成功に終わったことを私は感じた。そして演武披露の途中に大学の学長も駆け付けて下さり我々を歓迎して下さいました。短い時間であったが少し残念ではあるが我々には多くの学生や先生方と知り合えることが出来、全員満足でありました。

動と根本的に異なっている点は見当りませんでした。我々は台湾の人々の選挙に対する関心度を、選挙の投票率よりお伺いがしたところ、日本と余り変わりませんでした。

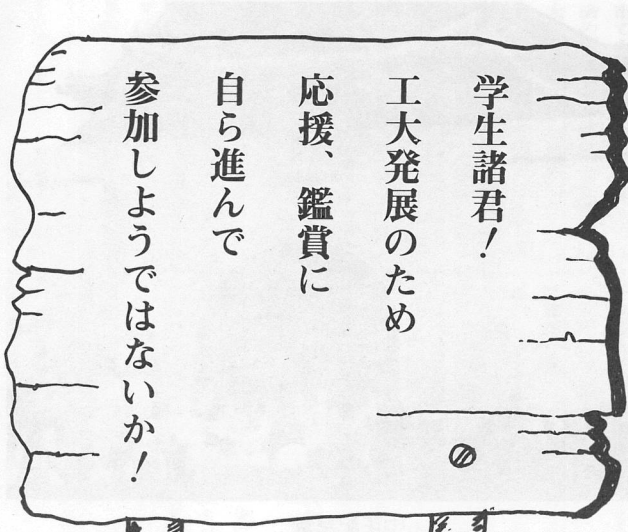
それから我々は市議会の中を案内して頂きました。ちょうど議会が開催されていなかったため、我々の中には入ることができませんでした。各議員の机の上には電話が置いてあり、外線はさることながら、議会中に議員同志で通話もできるようなになっていることに我々は驚きました。

今回、市議会を訪問しまして、我々は政治機構の違いを感じることはありませんでした。普通の観光客では、こういう市議会のような場所には訪れることができませんが、我々は方先生のおかげでこういう機会をもてたことを、大変嬉しく思っています。しかし、我々ももっと日本の政治機構について、今以上に勉強しなければいけないという痛感を感じました。

求む！ 應援團本部員

我々應援團では、活発に行動するため広く団員を募集しています。交際を広くし、友達を増して学生生活を有意義に過ごしてみませんか。我が應援團は民主的、且つ全学的な應援團を目的としています。

大阪工業大学應援團本部



学生諸君！
工大発展のため
応援、鑑賞に
自ら進んで
参加しようではないか！

塩崎建設興業(株)
塩崎測量設計事務所
(應援團一期)
塩崎 恭介

〒581 大阪府南河内郡狭山町半田1615の1
TEL 0723 (65) 6611 (代表)

いて御伺いすることが出来た。その折、中国鉄工所、中国造船所を見学する機会を得ることが出来た。我々工系系の学生にとっては、台湾に於ける工業に大変興味がありましたので有意義な見学となりました。そして、我々は台湾の工業の発達に驚き、工業国としても世界に誇れる存在になっていることも痛感しました。

又、台北に於きましては、台北市政府を表敬訪問し、馬秘書長と御会いし台北の現状について御伺いしました。又、台北市議会を見学し台北市の政治の現状についても知る事ができました。台北市政府では玄関に於きまして我々の演武を披露し、馬秘書長以下政府の方々と通行人等が暫し足を止めて見て下さいました。その事が地元新聞(青年戦士報・中華日報・中央日報)に載り、我々を歓迎して下さいたことを感じました。

次に、我々は一昨年から交流のある淡江大学を訪問しました。一昨年は台北の北東にある淡水の広大なキャンパスに招待され交歓会を行いました。今回は台北市内にある分校に招待されました。その席上我々はディスカッションを行いました。御互いに政治・経済・文化や今の学生生活等について質疑を繰り返すうちに打ち解けました。このディスカッションで感じたのですが、彼らは国家というものを考えて勉強し、好学力に燃えています。我々日本の学生も利己主義に陥らずに協調性を持って活動しなければならぬと思えました。

この合宿を終えて、当初の目的が一週間の合宿に於いては十分果せなかったところもあり、今後の課題として取り合えなければなりません。又、この合宿中に知り合えた多くの方々と益々交流を深め、今後の日台関係のこころ一部にでもなればと思っております。

最後になりましたが、御指導下さいました塩崎OB会会長を始めOB諸氏、淡江大学との交歓会を御準備下さいました東方語文学系主任の翁蘇傳卿先生、又、台北市に於いて御忙し中御同行下さいました市議会の方慶水連先生、ホームステイで大変御世話になった鄭美桂先生、並びに台湾に於きまして御世話下さいました方々、旅行社の方々には感謝にたえません。誠に有難うございました。

各クラブ活動状況

- 日本拳法部
 - 11・3 全日本学生選手権大会 於 大阪府立体育館
 - 11・7 学内素人日祭大会
- 合気拳道部
 - 11・22 全日本選手権大会 於 寝屋川体育館
- ラグビー部
 - 秋季リーグ戦
 - 11・1 工大対大院大 於 淀川G
 - 11・8 工大対関外大 於 淀川G
 - 11・15 工大対大医大 於 淀川G
 - 11・22 工大対大産大 於 淀川G
- 標準式野球部
 - 秋季リーグ戦
 - 11・4 工大対大歯大
- ボクシング部
 - 12・6 対芝浦工大定期戦 於 東京芝浦工大
- バレーボール部
 - 11・14 千葉工大定期戦 於 工大
- グリークラブ
 - 12・14 第9回定期演奏会 於 森之宮大ホール
- フォークソング部
 - 11・3 定期演奏会 於 森之宮小ホール
 - 11・13 レディースコンサート 於 森之宮大ホール
- 写真研究部
 - 12・17・22 第26回工大展 於 心斎橋ヒルセンギャラリー
- 茶道部
 - 11・1・3 秋季学内茶会 於 西中庭にて
- 上方落語研究部
 - 11・25 太閤寄席 於 大阪屋証券ホール
 - 12・15 大閤寄席 於 森之宮ビロイホール
- マンドリン部
 - 12・2 第18回定期演奏会 於 森之宮青少年会館

パチンコのデパート

千林会館

今日も出します
出玉率 100%

客本位の店
地下鉄千林大宮駅より北へ50m